



森林資源利活用促進研究プロジェクト

吉田登・池際博行・山本秀一・金子泰純・山本祐吾・佐々木壮太郎・西晃史

研究の目的

①木質バイオマスエネルギー利用を中心とする地域での森林資源活用促進の評価

木質バイオマスエネルギー需要の調査分析、及びカーボンオフセット・クレジット等の低炭素価値がもたらす市町村域への環境・経済効果の評価フレームの開発と適用

②紀伊半島における広葉樹チップを資源とした開発研究

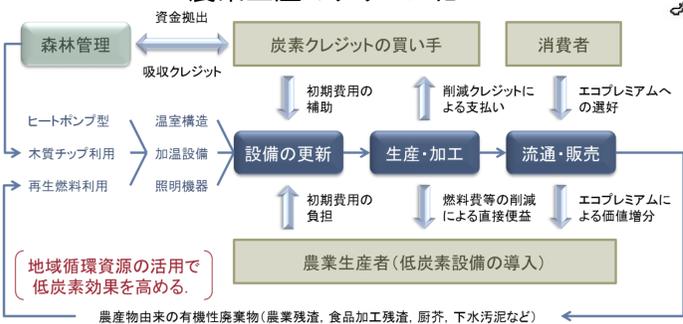
新しい広葉樹チップの利活用として「セルロースファイバー」と熱資源としての「チップボイラー」開発

地域の様々な森林資源利活用のさらなる促進を支援

薪ボイラーのCO2削減価値を付したカーボンオフセット「じゃばら」商品の試販事業
↓
環境価値を活かした観光マーケティングへ

施設園芸農家でのエネルギー需要が課題

低炭素投資スキームを活用した設備更新による農業生産のグリーン化



有田市・有田川町

北山村

日高川町

印南町



和歌山県に多数存在する天然林である広葉樹林
↓
利活用に新たな視点をおいたチップボイラー開発



木質パウダー燃料のCO2削減価値を活かした住民参加型木質資源活用モデル事業

多様な木質燃料で森林資源活用の地域産業コンプレックスを構築し地域振興へ



森林所有者・一般住民が自家用トラックに

買い物などのついでに

和歌山県森林組合連合会御坊事業所へ



明日への活力

¥2,000/軽トラック

県森連 ¥3,000 + ¥3,000 = ¥6,000/t (地域通貨券)

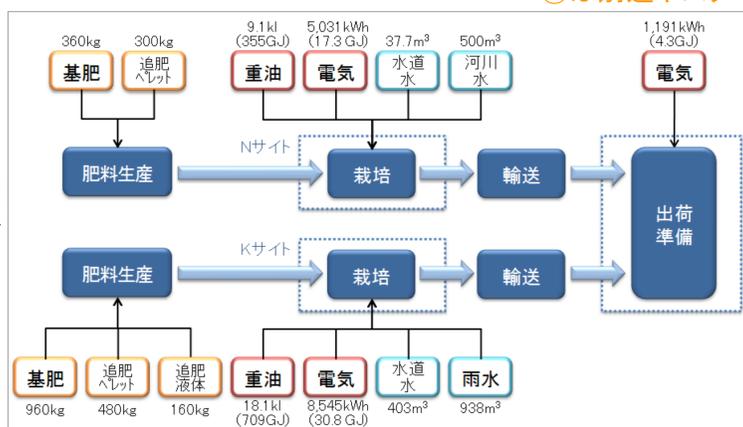
施設園芸農家でのエネルギー需要調査

これまでの主な成果

市町村版産業連関評価モデルの開発



実態調査に基づき、施設園芸農家におけるエネルギー・物質投入量を把握



加温設備の更新による重油消費抑制がCO2排出削減に効果的であることを把握

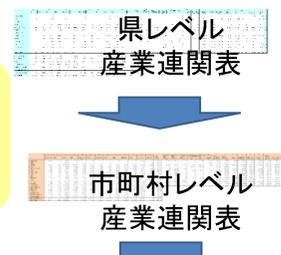
今後、木質バイオマスボイラーなど、地域循環資源を活用した加温設備の導入効果を定量化する予定



生産誘発係数 (当該産業の地域経済への波及効果)

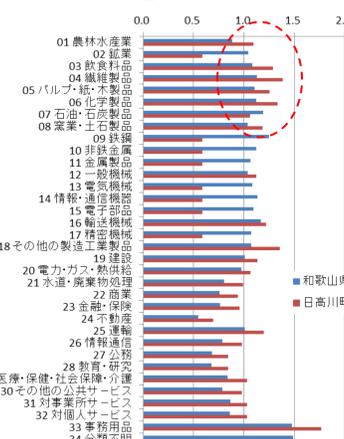


日高川町では工業集積が乏しい⇒製造業(特に金属・機械系)の生産誘発が小さい



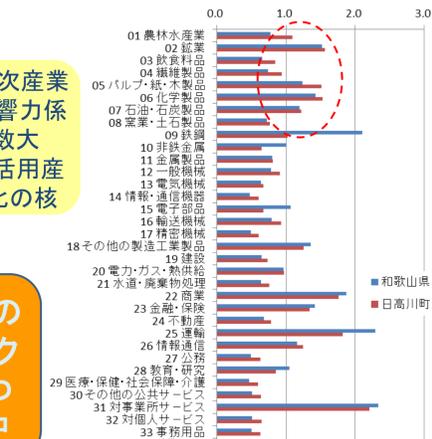
地域資源活用による市町村スケールでの地域経済波及効果の分析が可能

影響力係数 (当該産業が地域内他産業から原材料を投入しているほど高い)



日高川町では一次産業と関連産業の影響力係数・感応度係数大⇒バイオマス利活用産業が地域活性化の核

感応度係数 (当該産業が地域内他産業に原材料を提供しているほど高い)



バイオマスのオフセット・クレジットについて調査中

